

エコアクション21

環境経営レポート

(2023年 10月～ 2024年 9月)



環境省

エコアクション21
認証番号 0007495

発行年月日 2024年 10月 25日

有限会社 築山建設

目 次

1. 組織の概要	・・・ 1
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日	・・・ 2～3
3. 環境経営方針	・・・ 4
4. 環境管理組織体制	・・・ 5
5. 環境経営活動への取組の全体概要	・・・ 6
6. 環境経営目標	・・・ 7
7. 環境経営計画	・・・ 8
8. 環境経営目標の実績	・・・ 9～13
9. 環境経営計画の取組結果とその評価	・・・ 14～19
10. 次年度の取組内容	
(1) 環境経営目標	・・・ 20
(2) 環境経営計画	・・・ 21
11. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	・・・ 22
12. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果	・・・ 23
13. その他の取組	・・・ 24～25

発行日： 2024 年 10 月 25 日

発行責任者：代表取締役 前田達也

次回発行予定： 2025 年 10 月 頃

1. 組織の概要

【事業者名】 有限会社築山建設

【代表者氏名】 代表取締役 前田達也

【所在地】

本社 〒 781-0270
高知県高知市長浜5246番地7

倉庫 〒 781-0270
高知県高知市長浜3576番地1

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名	工務部長	矢野雄幸
連絡先担当者	営業部長	田所邦彦
	工務部	松村武展

連絡先 TEL:088-842-3716
FAX:088-842-3729
E-mail:tukiyamakensetu@coffee.ocn.ne.jp

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業(主に港湾、河川、道路、下水、水道等の工事を行っています。)

建設業許可

許可番号 : 高知県知事許可(特-3)第3251号
許可年月日 : 令和3年12月4日
建設業の種類 : 土木工事業, とび・土工工事業, 鋼構造物工事業, 舗装工事業
しゅんせつ工事業, 塗装工事業, 水道施設工事業, 解体工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和53年3月1日
資本金 24,000千円

	2021年度	2022年度	2023年度
完成工事高(売上高)			
(千円)	568,498	615,862	674,964
従業員数 (名)	18	18	18
事業所敷地面積 (m ²)	170	170	170
事業所延べ床面積 (m ²)	133	133	133
倉庫敷地面積 (m ²)	762	762	762
倉庫延べ床面積 (m ²)	126	126	126

従業員数は、毎年 9 月 30 日現在

会計年度 10 月 ~ 9 月

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう	○	障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO ₂ 削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO ₂ 削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	浄化槽、排水処理の場合
15	陸の豊かさも守ろう	○	県産木材の使用
16	平和と公正をすべての人に	○	寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう	○	寄付、地域の清掃活動への参加

3. 環境経営方針

【環境経営理念】

有限会社築山建設は、安全な国土・社会の形成を礎に地球環境に優しい企業として、環境保全活動に積極的に取り組みます。また地域社会の一員である事を自覚し、企業の社会的責任を果たし、社会の未来に貢献するために、積極的に、省資源・省エネルギー化を図り、低炭素で環境負荷の少ない循環型社会の実現への取り組み、環境経営の継続的改善を推進します。

【基本方針】

1. 建設業として地域社会との調和を図り、環境に配慮した工事を推進します。
2. ①重機・車輛の燃料使用量の抑制及び節電により、二酸化炭素排出量を削減します。
②節水活動により建設現場・事務所の使用水量を削減します。
③建設現場及び事務所における廃棄物の排出量を削減し、分別を徹底して再資源化による廃材リサイクルの向上を推進します。
④事務用品及び建設資機材のグリーン購入を進め、地球環境に優しい事業経営を行います。
⑤地域周辺（県道・海岸・河川）に対してボランティア活動への参加を積極的に行います。
⑥環境負荷の少ない工事を促進します。
⑦ICT化による設計・施工の効率化を推進します。
3. 環境関連法規並びに条例を遵守します。
4. 全従業員に対し環境方針を周知徹底するとともに、全社的に取り組み環境経営レポートを作成し広く外部に公表します。

制定日：2011年9月10日

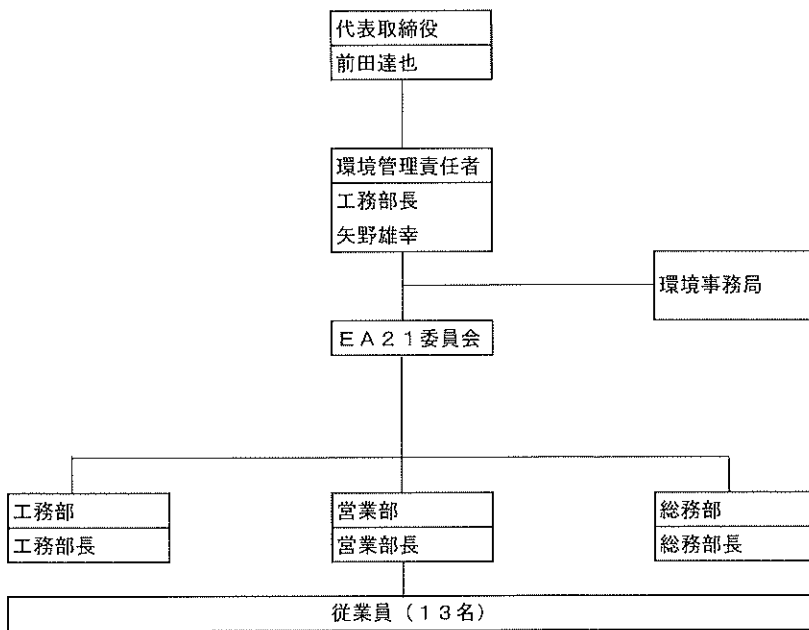
改定日：2019年10月1日

有限会社築山建設

代表取締役

前田達也

4. 環境管理組織体制



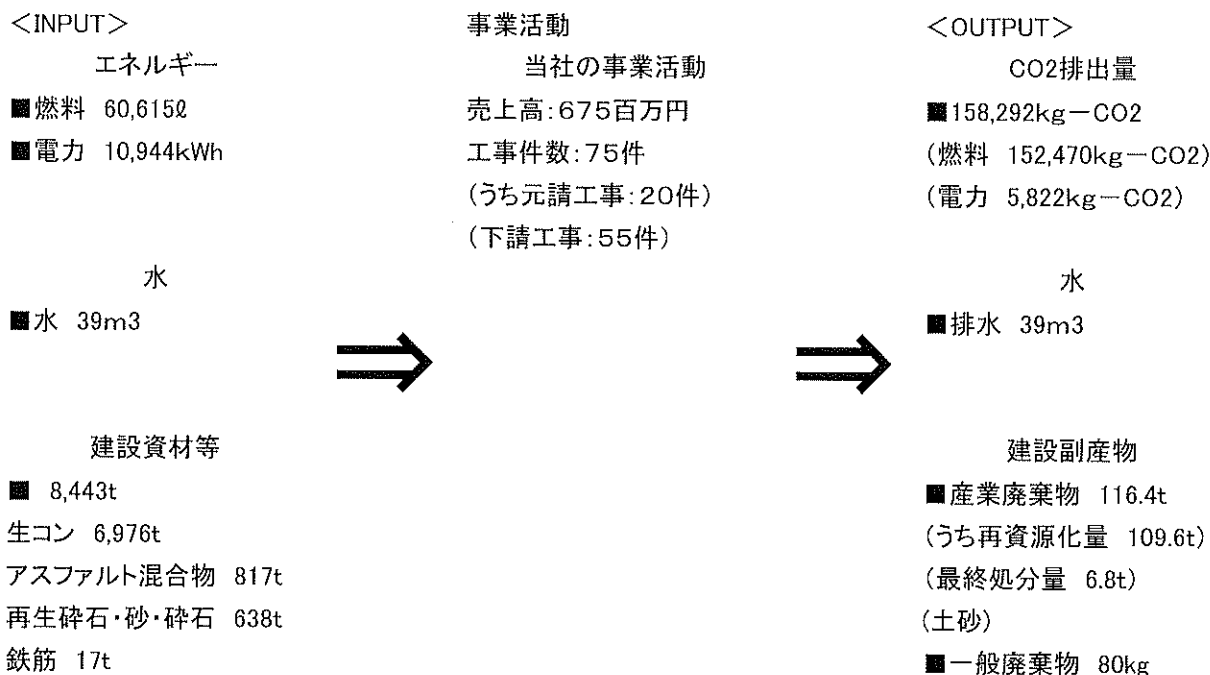
環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システム実施に必要な人、設備、費用、時間、技能・技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を承認 代表者による経営における課題とチャンスの明確化 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 推進の事務局として機能 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
E A 2 1 委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動の実績の評価 環境活動の方向性の決定 環境経営目標の見直し
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知、従業員への環境教育訓練実施 自部門に関する環境経営計画の実施、達成状況報告 自部門に関する緊急事態訓練の実施 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「エコアクション21建設業者向けガイドライン2017年版」をもとに、環境負荷のチェックを行い環境経営目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

〈マテリアルフロー〉



〈全体概況〉

○CO₂排出量については、現場が遠方または点在していることで燃料の使用量が増加、また電力の使用量増加に伴い、目標を達成することが出来ませんでした。ただし、売上の増加に伴い、原単位は目標を達成することが出来ました。

○電力の削減は日頃から心掛けているものの、酷暑による現場事務所でのエアコン使用が増加したため、使用量も増加となりました。

○水使用量の削減については、蛇口の締め忘れの点検や洗い物のまとめ洗いを徹底したことが節水に繋がり、目標を達成することが出来ました。

○一般廃棄物排出量については削減目標値を大きく下回り、達成することが出来ました。

○産業廃棄物排出量は、構造物の取壊しを行う工事が少なかったため、目標を達成することが出来ました。しかし、廃プラや建設汚泥など最終処分となる廃棄物が多く発生したことにより、再資源化率が低減したため、目標を達成することが出来ませんでした。

○環境美化活動については、毎月ロードボランティア(清掃活動)の実施や環境団体への支援などを行っています。

6. 環境経営目標

(2023年度)

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年	2023年度
			(3年平均) 2018.10-2021.9	目標(△4%) 2023.10-2024.9
売上高		百万円	428	430
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	20,347	19,533
	原単位	(ℓ/百万円)	48	45
軽油使用量	総量	(ℓ)	41,682	40,015
	原単位	(ℓ/百万円)	97	93
灯油使用量	総量	(ℓ)	117	112
	原単位	(ℓ/百万円)	0.27	0.26
電力使用量	総量	(kWh)	9,597	9,213
	原単位	(kWh/百万円)	22	21
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	160,717	154,288
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	376	359
水使用量	総量	(m ³)	42	40
	原単位	(m ³ /百万円)	0.10	0.09
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	250	240
	原単位	(kg/百万円)	0.58	0.56
産業廃棄物排出量	総量	(t)	276	265
	原単位	(t/百万円)	0.64	0.62
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	95	95
グリーン購入	総量	(%)	90	90
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100
環境美化活動	総量	(回)	12	12

- * 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(平成29年度実績)
(平成29年12月21日公表)の四国電力の調整後排出係数0.529(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 濁水・騒音・振動・粉塵防止対策の実施
 - ICT化の推進
- * 4. 化学物質は使用していないので、目標の対象外である。
- * 5. 産業廃棄物再資源化率(%) = 再資源化量 ÷ 総排出量 × 100

(2) 中期目標

項目	総量・原単位	単位	2018.10-2021.9	2024年度	2025年度	2026年度
			実績(基準年)	目標(△6%)	目標(△8%)	目標(△10%)
売上高		百万円	428	430	430	430
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	20,347	19,126	18,719	18,312
	原単位	(ℓ/百万円)	48	44	44	43
軽油使用量	総量	(ℓ)	41,682	39,181	38,347	37,514
	原単位	(ℓ/百万円)	97	91	89	87
灯油使用量	総量	(ℓ)	117	110	108	105
	原単位	(ℓ/百万円)	0.27	0.26	0.25	0.24
電力使用量	総量	(kWh)	9,597	9,021	8,829	8,637
	原単位	(kWh/百万円)	22	21	21	20
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	160,717	151,074	147,860	144,645
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	376	351	344	336
水使用量	総量	(m ³)	42	39	39	38
	原単位	(m ³ /百万円)	0.10	0.09	0.09	0.09
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	250	235	230	225
	原単位	(kg/百万円)	0.58	0.55	0.53	0.52
産業廃棄物排出量	総量	(t)	276	259	254	248
	原単位	(t/百万円)	0.64	0.60	0.59	0.58
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	95	95	95	95
グリーン購入	総量	(%)	90	90	90	90
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	12	12	12	12

7. 環境経営計画

期間：2023年10月 ～ 2024年9月

項目	活動内容		担当者	期間
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○重機のアイドリングストップ活動の推進 ○給油量を記録させ燃料使用量を計算する ○現場間の移動の際は最短距離などを考慮し消費量を抑える ○定期的な車輛の保守点検 ○タイヤの空気圧の点検 ○過積載・速度超過をしない ○不要物を積み込まない ○急発進・急加速の禁止 ○渋滞を避け、時間に余裕をもって出発する 	工務部長	2024年9月
	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○パソコンは使用時以外は電源を切る ○退席、退社時に必要の無い電気製品についてはコンセントを抜くなどして、待機電力の削減を図る ○エアコンの温度管理を行う (夏季26±2度、冬季20±2度) ○昼休み及び不使用部屋の消灯を行う ○ウォームビズ・クールビズを推奨する (扇風機の適用等) 	環境事務局	2024年9月
水使用量削減		<ul style="list-style-type: none"> ○使用に際してはこまめに蛇口の締め忘れがないかを確認する ○事務所内の清掃及び散水は地下水(井戸)を使用する ○雨水の貯蔵タンクや雨水利用施設の設置等により、雨水の利用を行う ○節水シール等による節水の注意喚起 ○洗い物のまとめ洗いの実施 ○漏水の点検 ○節水ストッパーの設置 	総務部長	2024年9月
廃棄物削減	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物は種類別に分別する ○不要になったコピー用紙を再利用する ○詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により製品等の長期使用を進める ○両面コピーの促進 ○ミスコピー低減のためにプレビューを使用する ○電子化の推進(PDF・イントラネット(サイボウズ)の利用等) 	工務部長	2024年9月
	産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○リサイクルの促進 ○マニフェストによる適正処理 		
グリーン購入		<ul style="list-style-type: none"> ○使用物品等はエコマーク商品を増やす様努力する ○環境負荷の少ない建設資材の使用、建設資材の使用合理化に取り組む ○リサイクル品を購入し使用する ○商品の購入前に再度必要な物かを確認する 	総務部長	2024年9月
環境美化活動		<ul style="list-style-type: none"> ○地域の清掃活動への参加 ○事務所周辺・現場周辺の清掃 ○ロードボランティア・河川愛護団体への参加 ○公共交通エコポイント活用社会活動への参加 	環境事務局	2024年9月
環境負荷の少ない工事		<ul style="list-style-type: none"> ○「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議 ○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、再生骨材RC、RM等)を使用する ○低騒音、排出ガス対策型重機を使用する ○型枠、工事看板に間伐材を使用する(未利用資源の有効利用) ○濁水・振動・騒音・粉塵防止対策の実施 ○環境負荷の少ない工法の提案・施工 ○ICT技術の施工による効率化 	工務部長	2024年9月
SDGsへの取組		<ul style="list-style-type: none"> ○こうちSDGsへの取組・推進 	環境事務局	2024年9月

8. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 (3年平均) 2018.10-2021.9	2023年度 目標(Δ4%) 2023.10-2024.9	2023年度 実績 2023.10-2024.9	実績値/目標値 (%)	評価
売上高		百万円	428	430	675		
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	20,347	19,533	15,041	77	○
	原単位	(ℓ/百万円)	48	45	22	48.9	○
軽油使用量	総量	(ℓ)	41,682	40,015	45,502	113.7	×
	原単位	(ℓ/百万円)	97	93	67	72	○
灯油使用量	総量	(ℓ)	117	112	72	69.6	○
	原単位	(ℓ/百万円)	0.27	0.26	0.11	42.3	○
電力使用量	総量	(kWh)	9,597	9,213	10,944	118.8	×
	原単位	(kWh/百万円)	22	21	16	76.2	○
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	160,717	154,288	158,292	102.6	△
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	376	359	235	65.5	○
水使用量	総量	(m ³)	42	40	39	97.5	○
	原単位	(m ³ /百万円)	0.10	0.09	0.06	66.7	○
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	250	240	80	33.3	○
	原単位	(kg/百万円)	0.58	0.56	0.12	21.4	○
産業廃棄物排出量	総量	(t)	276	265	116	43.8	○
	原単位	(t/百万円)	0.64	0.62	0.17	27.4	○
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	95	95	94	98.9	△
グリーン購入量	総量	(%)	90	90	90	100	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100	100	100	○
環境美化活動	総量	(回)	12	12	12	100	○

- * 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(令和3年度実績)(令和5年1月24日公表)の四国電力の調整後排出係数0.532(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 濁水・騒音・振動・粉塵防止対策の実施
 - ICT化の推進
- * 4. 評価は、「○」、「△」、「×」で評価する。
- * 5. 化学物質は使用していないので、目標の対象外である。
- * 6. 産業廃棄物再資源化率(%)=再資源化量÷総排出量×100

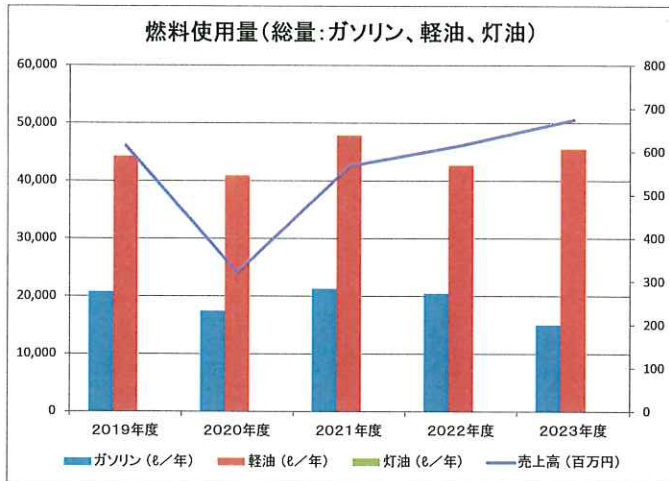
<環境経営目標未達成等理由>
 軽油:今年度は売上高が増えた(前年度の1.1倍)ため、重機の稼働量が増加した。
 電力:今年度は売上高が増えた(前年度の1.1倍)ため、現場事務所での使用量が増加した。
 CO₂排出量:軽油と電力の使用量が増加したため、排出量も増加した。
 産業廃棄物再資源化率:今年度は廃プラや建設汚泥などの最終処分する廃棄物が増えたため。

<過去の実績>

項目	総量・原単位	単位	基準年 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績
売上高		百万円	428	615	322	568	616
燃料使用量							
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	20,347	20,800	17,436	21,305	20,550
	原単位	(ℓ/百万円)	48	34	54	38	33
軽油使用量	総量	(ℓ)	41,682	44,227	40,915	47,839	42,678
	原単位	(ℓ/百万円)	97	72	127	84	69
灯油使用量	総量	(ℓ)	117	96	80	72	80
	原単位	(ℓ/百万円)	0.27	0.16	0.25	0.13	0.13
電力使用量	総量	(kWh)	9,597	9,411	8,113	6,664	9,385
	原単位	(kWh/百万円)	22	15	25	12	15
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	160,717	167,579	150,503	176,557	162,977
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	376	272	467	311	265
水使用量	総量	(m ³)	42	43	41	40	40
	原単位	(m ³ /百万円)	0.10	0.07	0.13	0.07	0.06
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	250	190	160	130	86
	原単位	(kg/百万円)	0.58	0.31	0.50	0.23	0.14
産業廃棄物排出量	総量	(t)	276	477	168	681	257
	原単位	(t/百万円)	0.64	0.78	0.52	1.20	0.42
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	95	100	50	99	99
グリーン購入	総量	(%)	90	90	90	90	90
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	12	12	12	12	12

燃料使用量（総量：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／年

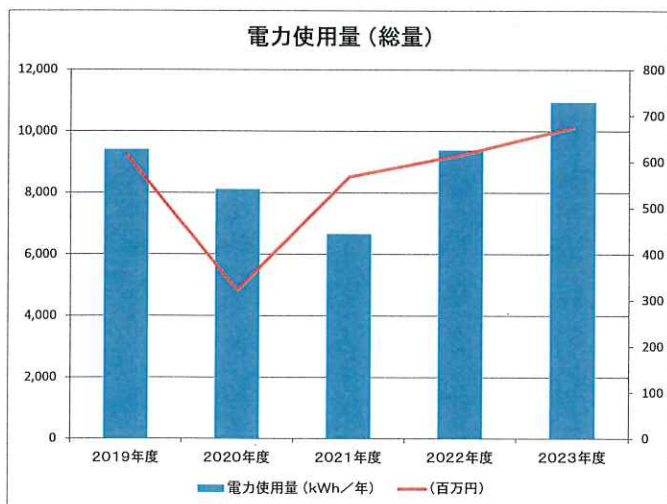
年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)	灯油 (ℓ／年)	売上高 (百万円)
2019年度	20,800	44,227	96	615
2020年度	17,436	40,915	80	322
2021年度	21,305	47,839	72	568
2022年度	20,550	42,678	80	616
2023年度	15,041	45,502	72	675



コメント・評価：軽油の使用量は年々増加の傾向にある。

電力使用量（総量：kWh／年）

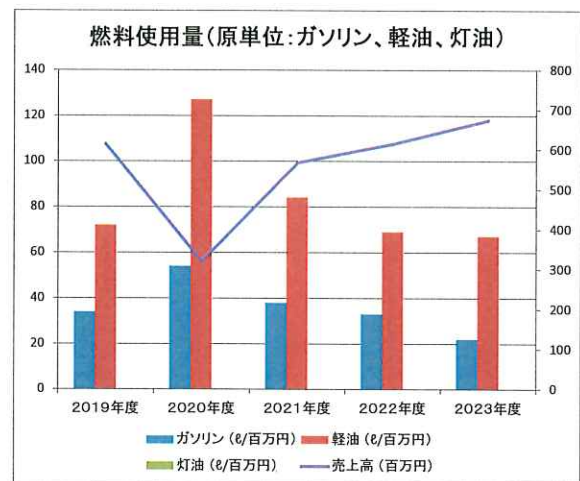
年度	電力使用量 (kWh／年)	売上高 (百万円)
2019年度	9,411	615
2020年度	8,113	322
2021年度	6,664	568
2022年度	9,385	616
2023年度	10,944	675



コメント・評価：2018年度から使用量は減少していたが、2022年度と2023年度は増加した。
2020年度を除いて、売上高と相関がある。

燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油、灯油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ/百万円)	軽油 (ℓ/百万円)	灯油 (ℓ/百万円)	売上高 (百万円)
2019年度	34	72	0.16	615
2020年度	54	127	0.25	322
2021年度	38	84	0.13	568
2022年度	33	69	0.13	616
2023年度	22	67	0.11	675



コメント・評価：ガソリンと軽油の原単位は売上高に左右されている。

電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)	売上高 (百万円)
2019年度	15	615
2020年度	25	322
2021年度	12	568
2022年度	15	616
2023年度	16	675



コメント・評価：原単位は売上高に左右されている。
2022年度は売上高の増加に反して原単位が増加した。
2020年度を除いて、売上高と相関がある。

CO₂ 排出量 (総量 : k g - CO₂)

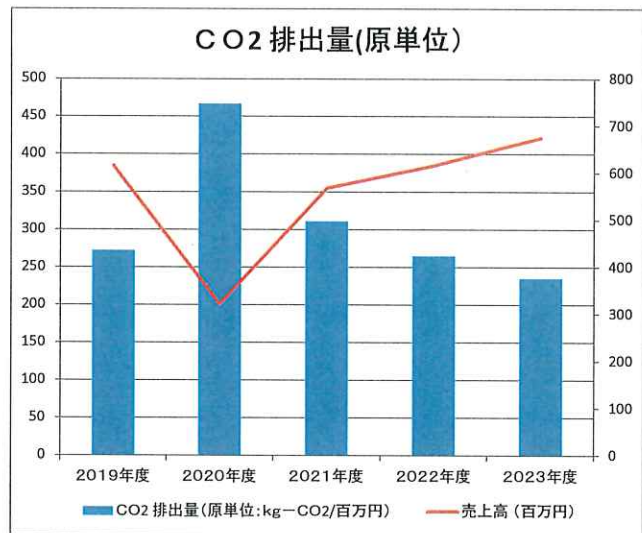
年度	CO ₂ 排出量 (k g - CO ₂)	売上高 (百万円)
2019年度	167,579	615
2020年度	150,503	322
2021年度	176,557	568
2022年度	162,977	616
2023年度	158,292	675



コメント・評価: CO₂排出量は年度によりバラつきがある。
2021年度は軽油使用量の増加により、CO₂排出量が多い。

CO₂ 排出量 (原単位 : k g - CO₂/百万円)

年度	CO ₂ 排出量 (k g - CO ₂ /百万円)	売上高 (百万円)
2019年度	272	615
2020年度	467	322
2021年度	311	568
2022年度	265	616
2023年度	235	675



コメント・評価: 原単位は売上高に左右されている。

水使用量 (総量 : m³)

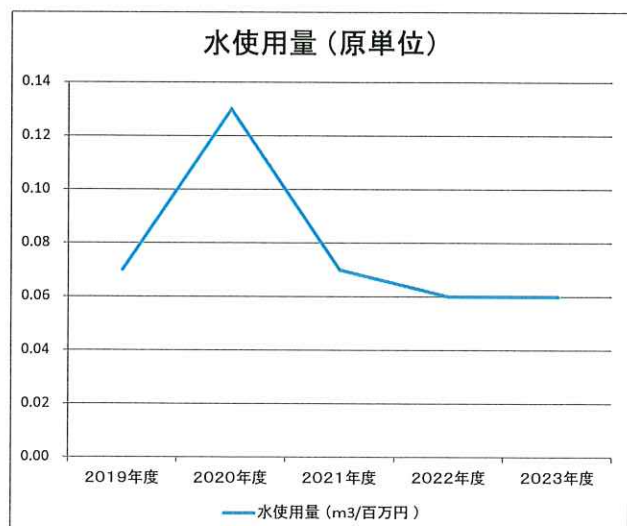
年度	水使用量 (m ³)
2019年度	43
2020年度	41
2021年度	40
2022年度	40
2023年度	39



コメント・評価: 水使用量は39~43m³の間で推移している。
経年的に減少傾向である。

水使用量 (原単位 : m³/百万円)

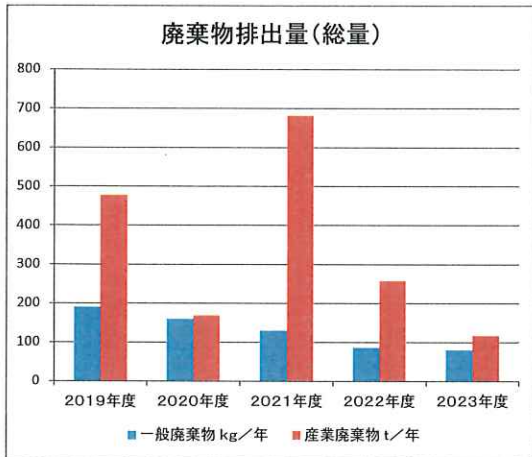
年度	水使用量 (m ³ /百万円)
2019年度	0.07
2020年度	0.13
2021年度	0.07
2022年度	0.06
2023年度	0.06



コメント・評価: 原単位は0.06~0.13の間で推移している。
2020年度は売上高の影響を受けている。

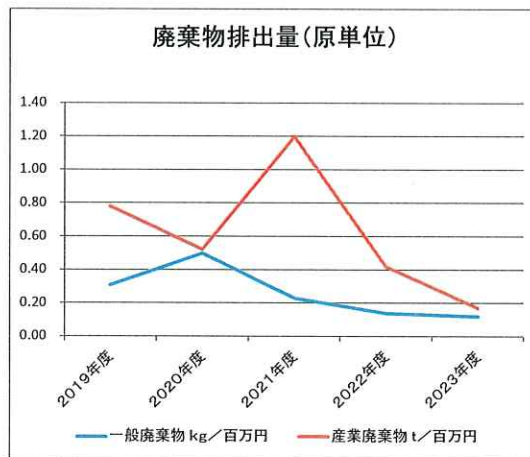
廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)
 単位:一般廃棄物 kg/年
 単位:産業廃棄物 t/年

年度	一般廃棄物 kg/年	産業廃棄物 t/年
2019年度	190	477
2020年度	160	168
2021年度	130	681
2022年度	86	257
2023年度	80	116



廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)
 単位:一般廃棄物 kg/百万円
 単位:産業廃棄物 t/百万円

年度	一般廃棄物 kg/百万円	産業廃棄物 t/百万円
2019年度	0.31	0.78
2020年度	0.50	0.52
2021年度	0.23	1.20
2022年度	0.14	0.42
2023年度	0.12	0.17

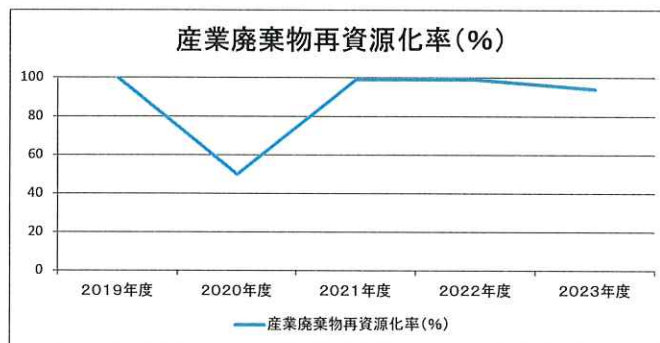


コメント・評価:産業廃棄物排出量は元請工事で排出する量により、増減している。
 一般廃棄物排出量は年々減少傾向にある。

コメント・評価:産業廃棄物の原単位は排出する量により増減している。
 一般廃棄物の原単位は年々減少傾向にある。

産業廃棄物再資源化率(%)

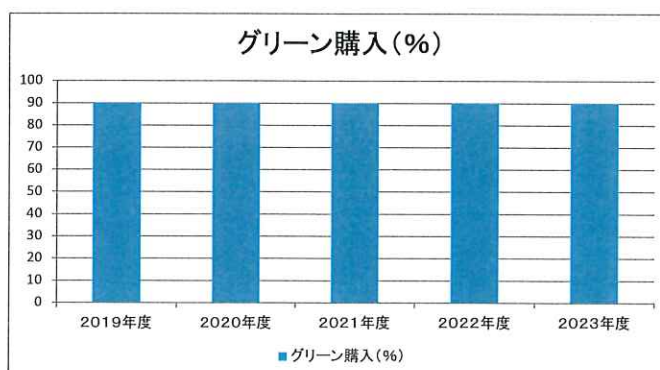
年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2019年度	100
2020年度	50
2021年度	99
2022年度	99
2023年度	94



コメント・評価:産業廃棄物再資源化率は年度毎の廃棄物の種類及び数量に左右されている。

グリーン購入(%)

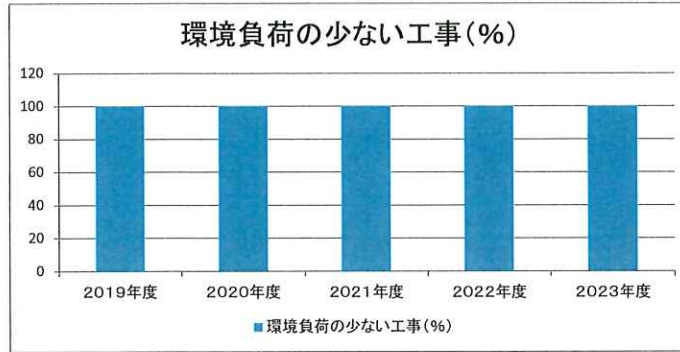
年度	グリーン購入 (%)
2019年度	90
2020年度	90
2021年度	90
2022年度	90
2023年度	90



コメント・評価:グリーン購入は90%で一定である。

環境負荷の少ない工事(%)

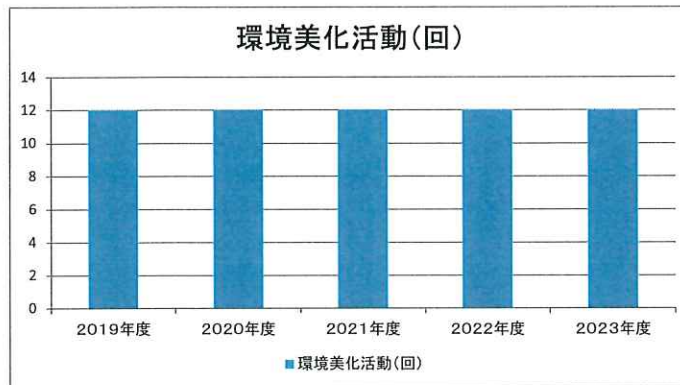
年度	環境負荷の少ない工事(%)
2019年度	100
2020年度	100
2021年度	100
2022年度	100
2023年度	100



コメント・評価:環境負荷の少ない工事は施工する全ての工事において取り組めている。

環境美化活動(回)

年度	環境美化活動(回)
2019年度	12
2020年度	12
2021年度	12
2022年度	12
2023年度	12



コメント・評価:環境美化活動は毎月一回取り組んでいる。

9. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間：2023年10月～2024年9月

項目	活動内容	取組結果	評価	見直し		
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○重機のアイドリングストップ活動の推進 ○給油量を記録させ燃料使用量を計算する ○現場間の移動の際は最短距離などを考慮し消費量を抑える ○定期的な車両の保守点検 ○タイヤの空気圧の点検 ○過積載・速度超過をしない ○不要物を積み込まない ○急発進・急加速の禁止 ○渋滞を避け、時間に余裕をもって出発する 	定期的な車両の保守点検をした 積載・速度超過をしない 急発進・急加速の禁止	良く出来ている	引き続き実施する	
	電力使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○パソコンは使用時以外は電源を切る ○退席、退社時に必要の無い電気製品についてはコンセントを抜くなどして、待機電力の削減を図る ○エアコンの温度管理を行う (夏季26±2度、冬季26±2度) ○昼休み及び不使用部屋の消灯を行う ○ウォームビズ・クールビズを推奨する (扇風機やストーブの適用等) 	エアコンの温度管理を徹底した (夏季26度以上、冬季20度以下) ウォームビズ・クールビズを推奨した (扇風機やストーブの適用等)	良く出来ている	引き続き実施する	
水使用量削減	<ul style="list-style-type: none"> ○使用に際してはこまめに蛇口の締め忘れがないかを確認する ○事務所内の清掃及び散水は地下水(井戸)を使用する ○雨水の貯蔵タンクや雨水利用施設の設置等により、雨水の利用を行う ○節水シール等による節水の注意喚起 ○洗い物のまとめ洗いの実施 ○漏水の点検 ○節水ストッパーの設置 	事務所内の清掃及び散水は地下水(井戸)を使用した 節水シール等による節水の注意喚起をした	良く出来ている	引き続き実施する		
	廃棄物削減	一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物は種類別に分別する ○不要になったコピー用紙を再利用する ○詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により製品等の長期使用を進める ○両面コピーの促進 ○ミスコピー低減のためにプレビューを使用する ○電子化の推進(PDF・イントラネット(サイボウズ)の利用等) 	不要になったコピー用紙を再利用した 両面コピーを促進した 電子化を推進(PDFの利用等)した	良く出来ている	引き続き実施する
		産業廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ○リサイクルの促進 ○マニフェストによる適正処理 	リサイクルを促進した マニフェストによる適正処理を徹底した		
		グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ○使用物品等はエコマーク商品を増やす様努力する ○環境負荷の少ない建設資材の使用、建設資材の使用合理化に取り組む ○リサイクル品を購入し使用する ○商品の購入前に再度必要な物かを確認する 	使用物品等はエコマーク商品を増やす様努力した 環境負荷の少ない建設資材の使用、建設資材の使用合理化に取り組んだ	良く出来ている	引き続き実施する
		環境美化活動	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の清掃活動への参加 ○事務所周辺・現場周辺の清掃 ○ロードボランティア・河川愛護団体への参加 ○公共交通エコポイント活用社会活動への参加 	事務所及び現場周辺の清掃を徹底し、地域の清掃活動やロードボランティアへ参加した	良く出来ている	引き続き実施する
		環境負荷の少ない工事	<ul style="list-style-type: none"> ○「環境配慮工事チェックシート」による工事前の点検・協議 ○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、再生骨材RC、RM等)を使用する ○低騒音、排出ガス対策型重機を使用する ○型枠、工事看板に間伐材を使用する(未利用資源の有効利用) ○濁水・振動・騒音・粉塵防止対策の実施 ○環境負荷の少ない工法の提案・施工 ○ICT技術の施工による効率化 	「環境配慮工事チェックシート」による工事前に点検・協議をした 濁水・振動・騒音・防塵防止対策を実施した 環境負荷の少ない工法を提案・施工した	良く出来ている	引き続き実施する
SDGsへの取組	<ul style="list-style-type: none"> ○こうちSDGsへの取組・推進 	2023年度の結果を報告した	目標達成出来た	引き続き実施する		

具体的な取組状況

1. CO₂ 排出量削減

(1) 燃料使用量削減

重機のアイドリングストップ活動の推進

現場で使用するダンプトラックや重機にアイドリングストップのステッカーを貼り付け、常に意識するよう、啓発しています。



急発進・急加速の禁止

「急発進・急加速の禁止」のシールを貼付、燃料使用量削減の啓発を行っています。



(2) 電力使用量削減

パソコンは使用時以外は電源を切る

パソコンは使用時以外は電源を切るよう、社員全員で徹底しています。



エアコンの温度管理を行う(夏季26±2度、冬季26±2度)

エアコンは夏季26±2度、冬季26±2度として、本社及び現場事務所において徹底しています。



夏季



冬季

LED照明を導入

本社事務所の照明は全てLEDである。



2. 水使用量の削減

節水シール等による節水の注意喚起

本社事務所内の水道蛇口に節水シールを貼付け、啓発を図っています。

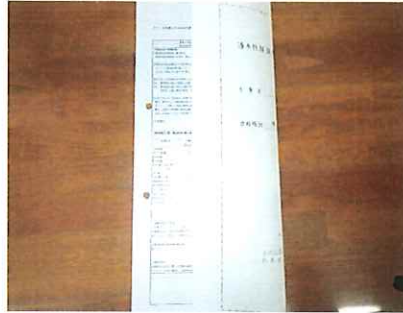
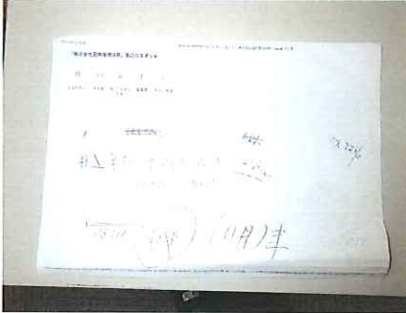


3. 廃棄物の削減

(1) 一般廃棄物の削減

不要になったコピー用紙を再利用する・両面コピーの促進

ミスコピー用紙はメモ用紙や計算用紙等、裏紙として使用し、またコピーする時は基本的に両面コピーでコピーするよう徹底しています。



(2) 産業廃棄物

産業廃棄物分別の徹底

産業廃棄物は分別し、産業廃棄物再資源化率が向上するよう、各現場にて努力しています。



4. グリーン購入

使用物品等はエコマーク商品を増やす様努力する

事務用品はエコマーク・グリーンマーク・PEFCマークの付いた商品を優先的に購入しています。



エコマーク



グリーンマーク



PEFCマーク

5. 環境美化活動

地域の清掃活動への参加

土木の日道路清掃に参加し、清掃活動（掃除・草刈等）を行いました。



事務所周辺・現場周辺の清掃

各現場の周辺にて、清掃活動（掃除・草刈等）を行いました。



ロードボランティア・河川愛護団体への参加

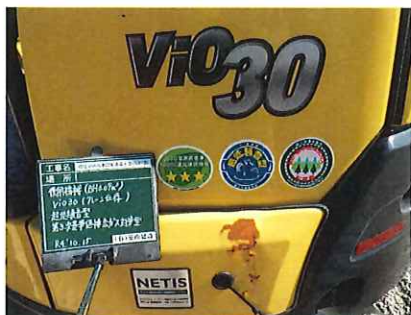
県道34号線のロードボランティア活動を行い、道路の清掃活動を行いました。（年12回実施）



6. 環境負荷の少ない工事

低騒音、排出ガス対策型重機を使用する

工事現場では、低騒音・排出ガス対策型重機を使用しました。



県産材の型枠、工事看板に間伐材を使用する（未利用資源の有効利用）

工事看板には、高知県産間伐材を使用し、環境負荷低減に努めました。



ICT技術の施工による効率化

工事現場でICT機械を導入し、法面掘削を施工しました。



10. 次年度の取組内容

(1) 環境経営目標

(1) 単年度目標 (2024年度)

項目	総量・原単位	単位	基準年 (3年平均) 2018.10-2021.9	2024年度 目標(Δ6%) 2024.10-2025.9
売上高		百万円	428	430
燃料使用量				
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	20,347	19,126
	原単位	(ℓ/百万円)	48	44
軽油使用量	総量	(ℓ)	41,682	39,181
	原単位	(ℓ/百万円)	97	91
灯油使用量	総量	(ℓ)	117	110
	原単位	(ℓ/百万円)	0.27	0.26
電力使用量	総量	(kWh)	9,597	9,021
	原単位	(kWh/百万円)	22	21
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	160,717	151,074
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	376	351
水使用量	総量	(m ³)	42	39
	原単位	(m ³ /百万円)	0.10	0.09
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	250	235
	原単位	(kg/百万円)	0.58	0.55
産業廃棄物排出量	総量	(t)	276	259
	原単位	(t/百万円)	0.64	0.60
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	95	95
グリーン購入	総量	(%)	90	90
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100
環境美化活動	総量	(回)	12	12

- * 1. 電力のCO₂発生量については、電気事業者別のCO₂排出係数(平成29年度実績)
(平成29年12月21日公表)の四国電力の調整後排出係数0.529(kg-CO₂/kWh)を使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 濁水・騒音・振動・粉塵防止対策の実施
 - ICT化の推進
- * 4. 化学物質は使用していないので、目標の対象外である。
- * 5. 産業廃棄物再資源化率(%) = 再資源化量 ÷ 総排出量 × 100

(2) 中期目標

項目	総量・原単位	単位	2018.10-2021.9 実績(基準年)	2025年度 目標(Δ8%)	2026年度 目標(Δ10%)	2027年度 目標(Δ12%)
売上高		百万円	428	430	430	430
燃料使用量						
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	20,347	18,719	18,312	17,905
	原単位	(ℓ/百万円)	48	44	43	42
軽油使用量	総量	(ℓ)	41,682	38,347	37,514	36,680
	原単位	(ℓ/百万円)	97	89	87	85
灯油使用量	総量	(ℓ)	117	108	105	103
	原単位	(ℓ/百万円)	0.27	0.25	0.24	0.24
電力使用量	総量	(kWh)	9,597	8,829	8,637	8,445
	原単位	(kWh/百万円)	22	21	20	20
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	160,717	147,860	144,645	141,431
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	376	344	336	329
水使用量	総量	(m ³)	42	39	38	37
	原単位	(m ³ /百万円)	0.10	0.09	0.09	0.09
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	250	230	225	220
	原単位	(kg/百万円)	0.58	0.53	0.52	0.51
産業廃棄物排出量	総量	(t)	276	254	248	243
	原単位	(t/百万円)	0.64	0.59	0.58	0.57
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	95	95	95	95
グリーン購入	総量	(%)	90	90	90	90
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100	100	100	100
環境美化活動	総量	(回)	12	12	12	12

10. 次年度の取組内容
(2) 環境経営計画

期間：2024年10月 ～ 2025年9月

項目	活動内容	担当者	期間														
CO ₂ 排出量削減	燃料使用量削減	工務部長	2025年9月														
	電力使用量削減			環境事務局													
水使用量削減	総務部長				2025年9月												
						廃棄物削減	工務部長	2025年9月									
									グリーン購入	総務部長	2025年9月						
												環境美化活動	環境事務局	2025年9月			
															環境負荷の少ない工事	工務部長	2025年9月

※活動内容の追加・変更

1.1. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	工務部長	○	2024・9・30
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約書	必要時	各現場責任者	○	2024・9・30
	第12条の三	産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付	廃棄物排出時	各現場責任者	○	2024・9・30
	第12条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び 都道府県知事(高知県知事)への提出	年1回 毎年6月末	工務部長	○	2024・6・30
	第14条	産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可 (5年毎に更新)	期限切れ 3ヶ月前	工務部長	○	2024・9・30
	第14条の一 12項	産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分				
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 (縦60cm以上×横60cm以上)	必要時	各現場責任者	○	2024・9・30
資源の有効な利用の促進に関する法律 (資源有効利用促進法)	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	各現場責任者	○	2024・9・30
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	各現場責任者	○	2024・9・30
騒音規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに高知市長に届出)	必要時	各現場責任者	該当なし	2024・9・30
振動規制法	第14条	○特定建設作業の実施の届出 (建設作業開始7日前までに高知市長に届出)	必要時	各現場責任者	該当なし	2024・9・30
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第5条	○重機の空調機器の簡易点検・記録の実施 (第1種特定製品(エアコン 7.5kw以下)は簡易点検を実施し記録する)	1回/3ヶ月	工務部長	○	2024・9・30
浄化槽法	第10条	○3ヶ月に1回の浄化槽の保守点検、 年1回の清掃実施	1回/3ヶ月	総務部長	○	2024・9・30
	第11条	○年1回の水質検査実施	年1回			
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	各現場責任者	○	2024・9・30
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	各現場責任者	○	2024・9・30

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

2023年10月より2024年9月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。
なお関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

12. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

■定期見直し
□臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項	
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 環境関連法規制等への違反、訴訟はありません。				【環境経営方針】 変更の必要性： □有 ■無 2011年9月8日の認証登録よりEA21の活動をスタートさせた。	
②問題点の是正処置及び予防処置の状況 軽油と電力の使用量について、毎月記録し、目標値と実績値との差を全社員に周知して削減に取り組む。				環境経営方針は2019年10月1日に改訂した。また、同方針は全社員に浸透しており、変更の必要性はないと見られる。	
③前回までの代表者の指示事項への対応 指示：環境経営活動が全職員に浸透しているが、尚一層の努力を行うこと。 対応：環境経営活動計画に全職員で対応しました。 単年度・中期目標値の見直しを行いました。				引き続き、環境経営方針に沿って活動を継続させること。	
④月別エネルギー使用状況（月間平均値を3割超えた理由） ・電力：現場事務所でのエアコンの使用が増えたため。 ・ガソリン：現場への移動回数等が増えたため。 ・軽油：現場での重機等の使用が増えたため。 ・灯油：灯油はいつも12月以降2月までの寒い時期にしか購入しないため。				【環境経営目標・環境経営計画】 変更の必要性： □有 ■無 軽油・電力の使用量、CO ₂ 総排出量は、売上高が前年度の1.1倍と増加したことにより、目標を達成出来なかった。また産業廃棄物再資源化率も廃プラ等の増加により、目標を達成出来なかった。	
<改善提案> 特になし。				上記以外の項目は全て目標を達成出来た。このペースで来年以降も取り組むこと。	
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】				今後も全員で年間及び中長期を通じて環境経営目標及び環境経営計画を常に見直し、目標達成を成し遂げること。	
目標項目	目標値達成状況	経営計画達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	【実施体制】 変更の必要性： □有 ■無 実施体制の見直しの必要はありません。	
灯油使用量	○	○	例年並みの使用量だった。		
ガソリン使用量	○	○	目標値を達成できた。		
軽油使用量	×	○	重機の稼働量が増えたため。		
電力使用量	×	○	現場事務所での使用量が増えたため。		
CO ₂ 排出量	総排出量	△	軽油・電力の使用量が多かった。		
	原単位	○	目標値を達成できた。		
水使用量	○	○	節水できている。		
一般廃棄物排出量	○	○	分別処理ができていた。		
産業廃棄物排出量	○	○	目標値を達成できた。		
産業廃棄物再資源化率	△	○	最終処分が増えたため。		
グリーン購入量	○	○	エコ商品の購入はできている。		
環境美化活動	○	○	全社員で実施できた。		
環境負荷の少ない工事	○	○	目標値を達成できた。	【環境経営システムの各要素】 変更の必要性： □有 ■無 継続的に見直しを実施し、改善し、環境活動を推進すること。 現時点では環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画等、環境経営システムは有効に機能しているので変更の必要は無い。	
<改善提案> 特になし。					
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より 工事開始前に、周辺住民等関係者にお知らせ等を配り、工事説明に努めており、外部からの苦情はありませんでした。				【総括】 今年度は完工高が前年度より高く（1.1倍）、電力や軽油の使用量が増加した。原因は、重機の稼働量や、現場事務所の電気使用量が増加したためである。またそれに伴いCO ₂ 排出量も増加した。そのため、現場に赴く作業員にはアイドリングストップやウォームビズ、クールビズ等会社に取り組んでいる活動を徹底させた。今年度は増加原因が判明しているため、来年度以降も電力や軽油の使用量の削減に努める。今後も継続して取り組んでいく。	
②環境関連法規制等の動向他 特になし。					
<改善提案> 法規制等の改定に関する情報を毎年1回(3月)環境省、高知県、高知市のホームページ等で確認し、改定があれば、訂正します。					
代表者が自ら得た情報					
特になし。					

13. その他の取組

1. 自然保護団体への支援

支援団体	支援内容	支援年
環境の杜こうち	交通エコポイント活用社会還元事業	2015年 ～2024年

- ・ 交通エコポイント表彰（令和6年5月17日）
- ・ 高知県ワークライフバランス推進企業認証登録（次世代育成支援部門）
（認証年月日：令和3年10月1日～有効期限：令和6年9月30日）



2. こうちSDGs推進企業への登録

SDGs達成に向けた経営方針等

弊社のホームページにも記載しております「地球環境に優しい企業として環境保全活動に積極的に取り組んでいきます。」はSDGsの達成と目的を同じくするものであり、社員一人ひとりがそのことを理解し取り組んでいく事でSDGsの達成に貢献していきます。

(3側面 主な分野に○)	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標 (10月～9月)	2023年の結果 (10月～9月)
環境 社会 経済	・地域美化活動への積極参加による環境維持	・社員参加率90% (2022年：80%→2030年：90%)	80%→81%
環境 社会 経済	・ICT施工工事件数の増加による生産性の向上	・年間施工件数5件 (2022年：1件→2030年：5件)	1件→1件
環境 社会 経済	・資格取得のサポート	・資格取得率の増加 (2022年：60%→2030年：80%)	60%→62%

登録期間：令和5年2月14日から令和8年2月13日まで

